



## 主要な農作物の生育情報

平成27年度 第3号

(平成27年6月3日)

福島県農林水産部農業振興課



降水量の少ない状態が続いており、5月28日仙台管区気象台発表の1か月予報でも向こう1か月の降水量は、少ない確率が40%となっています。6月1日発行の「農業技術情報第6号 少雨に関する農作物等の技術対策」を参考に農作物の管理に十分注意しましょう。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/117373.pdf>

### 【作物】

#### 1 水稲

田植え作業は、始期（5%終了）、盛期（50%終了）が平年より1日早く、それぞれ5月8日、5月15日でした。また、終期（95%終了）は平年並の5月25日でした。活着は概ね良好で、本田での初期生育は、分けつの発生が平年並から多く、主稈出葉が平年より早まっています。

直播栽培は、4月下旬から播種作業が始まり、5月下旬でほぼ終了しました。出芽と苗立ちは、良好です。

移植栽培、直播栽培ともに、今後は有効茎確保まで浅水管理を徹底し、早期に有効茎を確保するよう努めましょう。なお、除草剤を散布した場合、散布後7日間は止め水管理とします。

#### 2 小麦（農業総合センターにおける生育状況）

小麦の出穂期は、平年より5から10日早まりました。成熟期も、平年より早まる見込みです。適期収穫に努めましょう。

生育量は、穂数が平年並から少ない状況です。

### 【野菜】

#### 1 きゅうり

須賀川地域の露地栽培は、4月下旬以降まとまった降雨がなかったため、乾燥状態での定植となり、一部のほ場で活着遅延のほ場が見られますが、全体的には平年並の生育です。

県南地方の露地栽培は、平年並の5月中旬から定植作業が始まり、6月初旬で終了しました。高温乾燥のため、マルチ内がかなり乾燥していますが、現在のところ萎れ等は見られません。

3月定植の施設栽培は、乾燥のため曲がり果、先細果が発生しているほ場が見られます。

病害虫は、アザミウマ類、アブラムシ類、ハダニ類が発生しているため注意が必要です。

伊達地方のトンネル栽培は、5月上旬に定植され、現在はつる上げ作業が行われています。露地栽培は定植が始まりましたが、土壌水分不足のため活着不良が懸念されるため、株元かん水が行われています。

#### 2 トマト

県南地方では、4月中旬定植の作型で5～6段目が、5月上旬定植の作型で4段目が開花している状況です。1段目の果実にチャック果、窓あき果が発生していますが、果実肥大は概ね良好です。少雨の影響は現在のところ見られません。

南会津地方では、例年よりも4月下旬からの日照が多かったため、苗の生育が進み定植のピークが、平年より早まり6月初旬となりました。小雨の影響は現在のところほとんど見られません。

### 3 さやいんげん

田村、会津地方の5月中下旬定植の作型は、高温乾燥のため葉焼けや萎れが散見され、活着遅延が見られます。

### 4 ブロッコリー

県南地域では、L玉規格中心に出荷されていますが、小雨のため花蕾の絞まりが悪く品質の低下が見られます。

### 5 さやえんどう

伊達地方では、4月上旬までは節間が長く、草丈も確保されていました。一部のかん水量が不足したほ場では、4月下旬以降の高温乾燥のため、5月に入り草勢が低下し収穫の終了が平年より早まりました。

現在は、かん水設備のあるほ場や中山間部を中心に収穫が行われています。

### 6 ピーマン

安達、田村のトンネル栽培の作型では、平年並の4月下旬頃から随時定植されましたが、高温乾燥のため、かん水量が不足しているほ場では芯焼けや萎れが発生しています。一方、かん水を充分に行ったほ場では順調に生育しており、現在、二番果が着果しています。

気温が高く推移したため、平年より生育が早く、6月10日頃から収穫が始まる見込みです。

## 【果 樹】

県内各産地の主要樹種の結実状況及び果実肥大は、概ね良好となっています。

(果樹研究所における6月2日現在の生育概況)

#### 1 も も

「あかつき」の果実肥大(暦日比較)は、平年と比較し縦径が122%、側径が130%と平年より大きい状況です。

また、「あかつき」の硬核期の開始日は6月8日頃で、平年より3日早い予測となっています。

#### 2 な し

「幸水」の果実肥大(暦日比較)は、平年と比較し縦径が122%、横径が130%と平年より大きい状況です。

#### 3 りんご

「ふじ」の果実肥大(暦日比較)は、平年と比較し縦径が117%、横径が126%と平年より大きい状況です。

#### 4 ぶどう

「巨峰」の満開は5月28日で平年より13日、「あづましずく」の満開は5月27日で平年より14日早い状況でした。

現在、無核栽培のジベレリン処理も順調に実施されています。

## 【花 き】

#### 1 キク類

コギクは7月出しで草丈が短い傾向です。輪ギクは草丈が平年並～やや長くなっています。

9月出しの定植作業は順調に行われ、5月下旬までに終了しています。

一部で白さび病の発生が見られますが、下位葉に留まっています。

## 2 リンドウ

極早生は、平年並～やや早まっており、出蕾期を迎えています。早生や中晩生は5月の高温多照により、草丈が長く旺盛な生育となっています。

適宜、かん水が行われており、少雨の影響は少ない見込みです。

一部でアブラムシ類やアザミウマ類の発生が目立つほ場が見られます。

## 3 シュッコンカスミソウ

会津地方では、越冬株で平年並の6月初めから出荷が開始されました。抑制の作型では5月から定植が行われており、順調に作業が進んでいます。

いずれの作型も適宜かん水が行われており、少雨の影響はほとんど見られません。

## 4 トルコギキョウ

会津地方では、半促成栽培が平年よりやや早い5月下旬から出荷が開始されました。季咲きや抑制の作型では、順調に作業が進んでいます。

一部でアザミウマ類の発生が見られます。

### 【飼料作物】

#### 1 牧草

5月中旬から1番草の収穫期を迎え、現在収穫作業が行われています。少雨のため、草丈が短く収量は若干平年を下回る見込みですが、収穫調製時の雨あたりが無く、品質は良好となる見込みです。

#### 2 飼料用トウモロコシ

4月に播種したほ場では平年並に生育しています。播種が遅れた圃場では、少雨のため発芽の遅れも見られています。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>）等を活用し、適切に対応してください。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7339

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiikujoyouhou>